



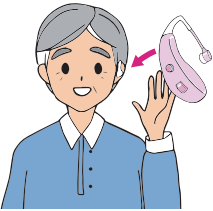
出町ゆかりだより

日本共産党
高槻市議員

発行：日本共産党高槻市議員団 出町ゆかり

連絡先：議員団控室 TEL072-674-7230 FAX072-674-3202

NO.123 2022年10月



9月議会の報告

一般質問をしました

加齢性難聴者への補聴器購入費補助制度について

この質問は 実施する自治体が増
2019年に続いて えており、高槻市に
2回目です。この間、 対して実施の要望を
地方自治体での補聴 しました。
器購入費補助制度を

聞こえの保障は人権の保障

今年、8月に日本 報を得られることは
共産党宮本徹、山添 大切」と答えていま
拓議員が厚労省と交 す。市の考えを求め
渉。厚労省も「聞こ ました。
えは、人権問題で情

年金者組合高槻支部がアンケート

同会は会員に向け なたたという人が約
て、補聴器のアン 4割もいます。しか
ケートを実施しまし し補聴器をつけてい
た。 る人は少く、「高価
聞き返しが増えた すぎて手がでない」
という人が約6割、テ と回答しています。
レビの声が大き

聞こえの改善の効果は大きい

日本補聴器学会の 伸び、高槻市の社
調査では補聴器のお 会全体のためになる
かげで「安心感」「自 認識はありますか」
信、精神力、気力」 と質問しました。
が改善したと答え

市は「加齢に伴う 者の社会参加や生き
「街に出かけること がいとって点でも
で自信が出てきた」 大切な要素である」
という人が7割、9 と答弁しました。
割の人が「仕事上役 市は「加齢に伴う
にたっている」と答 補聴器については
えています。わたし 「加齢性難聴は加齢
は「聞こえの改善に に伴う現象で誰にも
よって高齢者の生活 変わり、健康寿命

起こりうるものであ
るから、引き続き国
に要望していく」と
せん。

増えている自治体独自の補助制度

補聴器の値段は 補聴器の利
片耳でも3万円から 用は着ければすく
20万円、両耳だと には、聞こえるもの
40万、50万かかると はなく、アフターケ
も言われています。 アが大切です。先進
補聴器が買えない加 的な自治体は、アフ
齢性難聴に苦しむ高 ターケアとセットで
齢者はがまんするし の補助制度を実施し
かないのでしょうか。 ています。

それではいけないと 高槻市でも、補聴
いうことで、国の制 器を安心して使える
度をまたず、自治体 ような相談の制度を
の補助制度も増え 補聴器相談医や業者
ています。2021 の協力も得て作り、
年には約50の自 広げていくことが必
治体だったのが、 要です。

高槻市でも

制度の実現を

わたしは、「国の 制度だというが、今
調査では東京都16区も 実際には困っている人
を含め、全国で100 を見過ごすことはで
を超える自治体が独 きないと、多くの自
自に補助制度を実施 治体の補助が広がっ
しています。大阪府 ている。高槻市も他
内でも今年度から貝 の自治体を参考にし
塚市が補助制度を始 て、独自の補助制度
めています。高槻市 きたと思います。

をつくってほしい」ま
た、「3年に一度行わ
れる「高齢者福祉計画
改定直前調査に、聞こ
えの設問を入れて、ぜ
ひ実態を把握してほし

い」を要望しました。

富田ふれあい文化センターの 利用について

＝普通の使い方ができる施設に＝

ふれあい文化セン
ターで講師を招いて、
学習会をしようとし
た、団体が団体の構成
員以外の利用は認めら
れないと利用を断られ
た。

ふれあい文化センター の在り方への意見

ふれあい文化セン
ターは地域に開かれた
コミュニティセンター
としての公共施設で
す。

コミュニティセンターとしての役割

2013年、中村れ
い子議員の質問に市は
「地域社会全体の中で、
福祉の向上や人権啓発
の住民交流の拠点であ
り、開かれたコミュニ
ティセンターと位置付
けている」と答弁して
います。それならば、
利用を団体の構成員に
かぎるとするのは矛盾
しているのではないで
すか。市が掲げている
「広く地域住民の交
流を促進する場」とは

市の考え方

市は「施設の性格を
勘案して、団体の会議
などを行うための活動
場所として支援を行っ
ていることから、登録
を行った団体が使用許
可を受けて使用するこ
としていきます」と答弁
しました。

なっていないと訴え、
あらためて市の考えを
聞きました。
団体構成員以外にも利
用できなければいけな
いし、その団体が大き
くなるために地域に取
り組みの案内をするこ
とが、講師を招いての学
習会を広く知らせるこ
とは当たり前なこと
です。広く市民の交流が
すすむためには、構成
員にかぎるとか、登録
要件のおおむね10名
以上とか、現実的でな
い項目はなくしてい
べきです。

本会議 決算質問

榎田の特認幼稚園について

榎田地域にある、
幼稚園は昨年度に続
いて、今年度も休園
中です。これは昨年
度の入園希望者が2
人しかなく、2人で
は集団としての取り
組みが難しいという
ことで、昨年休園し
ました。しかし、今
年度は1人の入園希
望者がありました
が、人数の確保が難
しいと、今年度も休
園になりました。昨
年度2人のままで開
園しておけば、今年
度は3人の園児がい
たということになり
ます。現在その1人
の園児は保護者の送
迎で違う幼稚園に
通っています。
わたしは「榎田地域
は空き家バンクを利
用して、自然の中で

子育てをしたいと、
移住してこられる若
い世代がいます。幼
稚園も、小学校も榎
田地域にあるという
ことで、安心して移
住される方もおられ
ます。その時に通園
や通学で保護者の負
担が増えるというこ
とは、前もって説明
をしていたのか、ま

た何人になれば、開
園するのかを、地元
の人たちと話し合う
必要があるのでは
と意見として述べま
した。市は「今年度
は昨年度より早く案
内をつくり、榎田の
特認園としてのいい
ところなどを、知ら
せていっている」と
答えました。

過疎地域の学校などは地域の

コミュニティの場

榎田地域の学校や
幼稚園は、地域のコ
ミュニティの場とし
ても大切です。一人
の子どもの要求から
始まった、移動図書
館「こゆい文庫」も
地域の人たちの協力
のもと続けられてい
ます。小学校、幼稚
園など、担当課では
なく、榎田地域全体
を高槻市としてどう
考えていくのかの
取り組み
が必要で
す。

いま、おすすめしています
しんぶん赤旗
日刊●月3,497円 / 日曜版●月930円